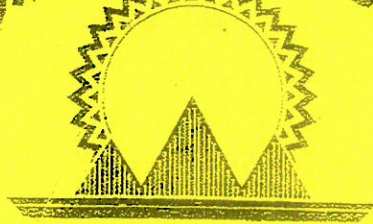


# 山陽堂だより 57

2014年4月卯月

## SANYODO MOTEN



山陽堂書店

03-3401-1309

2014.

4.1(水)~15(水)

3月の雑誌(店売)

ベスト5

1. 家庭画報
2. STORY
3. SPUR
4. POPEYE
5. Casa Brutus

定期購読も含めた

ベスト5

1. Sweet
2. Spar
3. 家庭画報
4. エルシボロン
5. POPEYE

3月 (店売)

本のベスト5

1. 「フューニとズー」新潮文庫  
村上和香 樹野 訳
2. 女川-中生の匂い  
あの日から 羽鳥 静  
小野 智美 編
3. 目で見える渋谷区100年  
郷工 出版
4. 地獄の沙汰も美女次第  
林真理子 マグジンハウス文庫
5. かみいっくん  
谷川 俊太郎 作 松本 洋絵 絵

小山董堂(文)絵本『ハチハチのほし』原画展 大垣友紀恵(画)

「くまのプロテウス」や、映画「あ、こいびと」で日本アカデミー賞最優秀脚本賞等、今をときめく小山董堂さんと、小6でANAくいらのひょうき「マリンジャンボ」と大ヒットさせ、以来夢のあるテーマパークを多く手がける話題のアーティスト、大垣友紀恵さんとの、夢のコラボレーションが実現しました。

『ハチハチのほし』は、「もしこの世からお金が無くなったら... お金に乏しくかわるものはなんだろう... この地球人に宇宙人がお邪魔したら、人間のことをどう思うだろう...」と

小山董堂さんが小さい頃から考えていた世界を絵本にしているのです。人と人とかお互いに「拍手」でつながるような明るく平和な世界の中にあってほしい、という小山さんの想い。それに共感した大垣さんの、色鮮やかなで生き生きとした楽しい絵の世界が見事に融合しています。

(千倉書店 印刷部 坂村)

・4月4日トークイベント 19:00~20:30

小山董堂 × 大垣友紀恵 × 千倉真理

限定1枚  
原画も販売中  
2万円税

たくさんのお申し込みありがとうございます。

元ミスDJの千倉真理さんお入柄のこのまのたのしい司会で「ほしおた」トークイベント。すてきな会話の中で、言葉がうまく投げられずはしゃぎすぎた、しゃぎすぎたのは投げ返される、元気もらえるひとときとまよりました。みなさま、どうもありがとうございます。

ハチハチハチ

# 安西水丸さんのこと

- 週刊村上朝日堂 (週刊朝日4月8号より一部抜粋)  
描かれたに終わった一枚の絵 (文) 村上春樹

安西水丸さんはこの世界で、(僕が)心を許すことのできる数少ない人の一人だった。(中略) 夏頃に『ゼロ=アス・モンクのいた風景』という単行本を出すことになっていて、その表紙のモンクの絵を全ページに描いてほしかつた。水丸さんは「いいよ、やりなそう」と快諾してくれ、ついでにニューヨークでモンクに会ったときの言葉をしてくれた。1960年代後半、彼がニューヨークに住んでいたとき、あるジャズ・クラブにモンクの演奏と聴きに行った。いちばん前の席で聴いているとモンクがやってきて彼に煙草をねだった。水丸さんは持っているハイライトを一本彼に進呈し、マッチで火もつけてあげた。モンクはそれを吸って「うん、うまい」と言った。「モンクにハイライトをあげたのは、たぶん僕くらいだよ」と嬉しそうに水丸さんは電話で語っていた。

水丸さんの描いたゼロ=アス・モンクの絵を見ることなく終わってしまったのは、悲しく、また心残りだ。その絵の中でモンクはあるいはパイプを吸っていたかもしれない。その絵を失ったことを、僕は心から惜しく思う。人の死はあるときには、描かれていたはずの一枚の絵を永遠に失ってしまうことなのだ。

- 安西水丸氏追悼 (週刊読書人4月4日号より一部抜粋)  
記憶が砂となって崩れ落ちる

友を失うことは自分の一部を失うこと

安西水丸が脳出血で倒れた、という訃報を聞いたときは記憶が砂となって、肩からさらさらと崩れていくのを感じた。それは悲しみを通りこした喪失感で、からだから脱力して、自分が壊れていき、声が出なくなつた。(中略) 友を失うことは自分の一部を失うことである。肩からさらさらと崩れ落ちる砂は彼岸の荒野へ行った水丸からの別れの声のようだった。

- 安西水丸さんが3月19日水曜日午後9時7分にお天にまかれました。『チャリ-のある本屋』になってから、水丸さんは「なんかも協力しますよ」と、個展だけでなく、和田誠さんとの二人展、トークイベント、700のイラストレーターを育てる教室を開講してくれました。どんなに心強かったです。水丸さんの姿は見えなくなりましたが、まいたか、まださかづきで「これからもうどうぞよろしくお願ひします。」  
水丸さん 山陽堂